

式 辞

本日ここに、ご来賓の皆様ならびに保護者の方々のご列席のもと、平成二十八年度大分工業高等専門学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員ならびに在学生にとって大きな慶びであります。今年には本科には百六十一名の新一年生とカンボジアから第三学年へ編入する留学生 ウン・ノオンリー君 一名をお迎えし、さらに、専攻科には三十名が進学されました。本科並びに専攻科に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、本日の入学式を心待ちにしておられた保護者の皆様にも、お喜びはいかばかりかと心よりお祝いを申し上げます。ご入学の皆さんは期待と一抹の不安を胸にこの入学式を迎えられたことと思います。私どもは、皆さんの夢と目標をしっかりと受け止め、教育と指導を通して皆さんの成長を見守って参ります。

大分高専の本科は昭和三十八年、すなわち五十三年前に設立され、これまで、卒業生は六千八百九十五名に上ります。そして専攻科は十三年前に設立され、その修了生は二百七十一名に達しました。本科を卒業または専攻科を修了した多くの先輩たちが我が国の主要企業、あるいは地域の中核企業に就職し、技術開発や製品開発を担ってくれています。ものづくり力、科学技術力の向上が我が国の重要課題とされる中、先輩方の活躍に、最近改めて産官学の各方面から、高専の実験・実習・実技を多く取り入れた体験重視型教育を高く評価する声を戴いております。皆さんも先輩たちの築いてこられた伝統を引き継いで頂きますとともに、大分高専に新風を吹き込んで下さいますよう、切にお願いするものであります。

先ず、本科入学の皆さんにお話ししたいと思います。大分県下の県立高校の志願倍率が高くて一・二倍というなか、本校の入学試験では志願倍率、約一・八倍を頂戴し、今、ここに居る皆さんはそのような倍率を突破して、見事合格を勝ち取られた素晴らしい頭脳の持ち主であると認識しております。皆さんは本校での志望学科を決める際、将来、こんな製品やあんなシステムを作ってやろうとか、みんなが喜ぶこんな街やあんな村をつくりたいとかの夢を描いたかと思えます。決して入学することのみが目標ではなかったはずです。だから、入学できたことに満足せずに、入学したからにはその夢の実現を目指して、これからの高専生活を有意義に過ごして下さい。厳しいことを申し上げますが、卒業までの五年間、夢・目標を持っているかないかによって勉学や課外活動に対する意欲が違ってくるため、大きな差となって結果が現れます。「今、夢・目標を持っていますか」と尋ねられて、「はい」と答えることができますか。答えに

窮する諸君は、しっかりと考えて答えられるようにしておいてください。ぜひお願い致します。

続いて、少し高専の教育システムと内容についてお話致します。本校は、教育目的として「人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する技術者の養成」を掲げています。この目的が示しますように、本校で学ぶ高専生には「国際通用性とコミュニケーション能力を持った創造的・実践的技術者教育」として、極めて幅広い能力を求めています。そのため、高専での授業内容は、一般の普通科高校や大学以上に密度の濃いものとなっております。本科五年間のうち、最初の三年間は基礎科目中心の教育を行いますが、四年、五年と進級するに従い、専門科目の割合が増してきます。専門科目の中には普通科高校のレベルを越えた数学や理科の理解力を必要とするものがあり、より高度な数学や理科教育がなされますので、皆さんの中には、難しく感じる人も出てくることかと思えます。しかし、大部分の学生は着実に勉強することにより、各科目の内容を修得し、学力を高めています。高専では、普通科高校のような、いわゆる入試のための勉強は必要ありませんが、将来社会に出て活躍するために必要な知識を身に付けるための勉強は、怠りなく行わなければなりません。

また、皆さんには、将来社会に出て、いろんな分野のリーダーとしての活躍が期待されています。そうした役割を担うには、豊かな人間性、視野の広さが重要であり、部活や学校行事等を通して多くの先輩、同級生、後輩達と交流することや読書により未知の世界に触れることが大切です。ぜひ、勉強と併せて部活などの課外活動にも、充実した高専生活を送るよう望みます。最近では、SNSなどを通じた友達との関係で悩んだりすることもあるかと思えます。それらは、青春時代に誰もが通る道です。どうぞご家族に、先生方に、そして友達に相談しながら克服し、逞しい高専生に成長して下さい。一つの例ではありますが、自宅から通える諸君でも学生寮に入って規律正しい集団生活を送りながら、積極的に自分を磨くことも良いのではないのでしょうか。どうぞご検討下さい。

次に、専攻科入学の皆さんにお話ししたいと思います。皆さんは既に本科の学業を終え、技術者として活躍するに十分な基盤的知識を身に付けられました。しかし、近年の科学技術の進歩は目覚ましく、全ての企業や研究機関において国際競争力の維持・向上を図るため、絶えず技術の改善・革新に向けた取組みがなされています。技術革新を意味するイノベーションの創出には、創造力豊かで実践力ある人材が不可欠です。また、ますますグローバル化が進む今日、

英語によるコミュニケーション能力の高い人材が求められています。イノベーションとグローバル化の言葉が示す社会的背景をもとに、専攻科が設置され、その充実が図られてきました。最近の本科卒業生の大学および専攻科への進学率は全国平均で約四十%であり、そのほぼ半分が専攻科に進学しています。本校の専攻科教育内容「システムデザイン工学プログラム」は、日本技術者教育認定機構の認定を受けており、本科四、五年次と専攻科一、二年次を併せた教育内容が、四年生大学の工学部教育として国際レベルの高い内容を有するものであることが認証されています。また、イノベーションについては、より深い学問を体系的に学ぶと同時に未知の問題に取組み、解決する力、とくに工業分野ではいろいろな専門分野の人と協力して問題解決する力を磨くことを課していますし、グローバル化については、英語によるコミュニケーション力が一定水準以上になることを求めています。このような専攻科での教育は、一般の大学では得がたいものであり、その成果は、皆さんの就職先である企業や進学先の大学院においても高く評価されています。専攻科での二年間は、特別研究やその成果の学会発表などに追われ、時間の経過を非常に早く感じると思います。計画的に学問、研究に励み、優れた成果を上げるよう期待しています。

最後になりますが、私どもが住む地球には、自然災害、環境・エネルギーそして食糧や経済問題など、克服すべき課題が山積しています。皆さんがこれから学ばれる工学こそが我が国の繁栄と文明社会の持続的発展を探究する学問であります。それには、新たな発想による高い科学技術力の構築が必要であり、皆さんには、全国の高専生と共に、将来の科学技術を担うグローバルな人材となることが期待されています。

本日、本科及び専攻科に入学された皆さん全員が、将来の夢、目標を心に描き、その実現に向けて自らを鍛え、楽しく充実した学生生活を送り、本校の教育目的である人間性豊かで国際性と創造性に富む実践的技術者に育っていくことを願って、入学式の式辞と致します。

平成二十八年四月五日

独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校長 古川 明 徳